



独 独
立 立
混 混
成 成
部 部
知 知
生 生
務 務
団 団
砲 砲
兵 兵
隊 隊
司令部

関東上陸地支局

昭和二十年一月八日

史実調査参考資料報告

南洋群島調査

参謀陸軍中佐

独立混成旅団司令部

多田 豊

終戦時ノ

概況ノ

職ノ変更及

主ナル参加

戦年各ノ記

ス



所在地

支那事変以
降ニ於テハ
自己ノ略入

所在部隊

編成年月日
及編制裝備
概要

所屬部隊
作戰経過
概要

終戦(又ハ五
力ノ戦斗終
了)ノ概況

帰郷(又ハ
連絡)ノ先

其他ノ参
考事項

備考

昭和二十年八月十三日

昭和二十年四月

昭和二十年三月

昭和二十年二月

昭和二十年一月

昭和二十年十二月

昭和二十年十一月

昭和二十年十月

昭和二十年九月

昭和二十年八月

昭和二十年七月

昭和二十年六月

昭和二十年五月

昭和二十年四月

昭和二十年三月

昭和二十年二月

昭和二十年一月

昭和二十年十二月

昭和二十年十一月

昭和二十年十月

昭和二十年九月

昭和二十年八月

昭和二十年七月

昭和二十年六月

昭和二十年五月

昭和二十年四月

昭和二十年三月

昭和二十年二月

昭和二十年一月

昭和二十年十二月

昭和二十年十一月

昭和二十年十月

昭和二十年九月

昭和二十年八月

昭和二十年七月

昭和二十年六月

昭和二十年五月

昭和二十年四月

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

備考
終戦後ノ南洋群島ニ於テハ其ノ司令部ノ増設ヲ考テ
シテ記述ス

16

東島陸地		昭和二十一年		陸軍	
大東支隊		南樺島		摘要	
所在地	南樺島	職名	独立隊	司令部	終戦時
所属部隊	独立隊	氏名	田中正	氏名	不明
支那軍	昭和二十一年七月	中隊	中隊	中隊	中隊
降下	八月	内地	内地	内地	内地
自己	八月	南洲	南洲	南洲	南洲
新部隊	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
編成	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
概要	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
所屬部隊	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
活動経路	中樞	中樞	中樞	中樞	中樞
概要	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
主力	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
終戦	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
帰郷	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍
経路	昭和二十一年六月	陸軍	陸軍	陸軍	陸軍

昭和二十一年六月

櫻井の極東砲兵

浦賀上陸地支局

昭和二十年十二月二十九日

史実調査参考資料報告

所在地

南洋群島

氏名

北澤 中尉

終戦時ノモ
ノ記ス

所屬部隊

陸軍第10師団砲兵隊

氏名

栗原 和

職ノ変更及
至ナル参加
戦ノ名ヲ
記ス

支那半島以
降ニ於ル自己
ノ略歴

一 昭和十七年十一月、理役兵トシテ野砲兵第14師団
補充隊入隊
二 昭和十九年二月、第31師団野砲兵第14聯隊轉属
三 昭和十九年七月、第31師団野砲兵第14聯隊轉属
四 昭和二十年七月、陸軍少尉、昭和二十年八月二十日
陸軍中尉

所屬部隊ノ
編成年月日
及編制裝備
ノ概要

昭和十九年六月十二日
陸軍砲兵大隊 三箇中隊編成
一箇中隊 BA/41 二箇 AA/41

最後ノ所屬
部隊ヲ主ニ
尚ソ以テ
所屬部隊ノ
命ヲモ概記
ス

所屬部隊作
戰經過ノ概
要

パラオ島兵ノ防備
ヲ執ル

終戦ノ又ハ全
力ノ戦ヲ終
了ノ状況

農場ニ農圃地自給農耕ヲ實施ス

歸還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷(又ハ連
絡)先

群島

其他ノ参
考事項

ナシ

35

21. 12

1364

29
120

浦賀上陸地支局 昭和三十年十二月二十九日

史実調査参考資料報告 摘要

所在地	南洋群島ハニオ島	氏名	中隊隊長陸軍大尉 金井孝男	終戦時ノモ ウ記ス
支那事変以 降ニ於ル自己 ノ略歴	北和十連隊 北支隊 遼中地区 中隊隊長 陸軍大尉 金井孝男 昭和二十一年三月 南洋方面 赴任 終戦時 ニ至リ 南洋方面 赴任 終戦時 記ス			職ノ変更及 五ナル参加 戦斗名ヲ 記ス
所属部隊ノ 編成年月日 及編制整備 ノ概要	獨立砲兵大隊 三中队 編成 昭和二十一年 四月 五中队 AA 2 終戦時 南洋方面 赴任 終戦時 記ス			最後ノ所属 部隊ヲ主ニ 尚ソ以テ 所属部隊ノ 分ヲモ 概記ス
所属部隊作 戦經過ノ概 要	ハニオ島 砲兵 準備			
終戦(又ハ主 力ノ戦ヲ終了 後ノ状況	終戦後 農場ニ 雇傭 砲兵 自決 農耕ヲス			帰還輸送 ノ状況ヲモ 併記ス
帰郷(又ハ連 絡)先	終戦時			
其他ノ参 考事項				

浦賀上陸地支局

昭和二十年十二月二十九日

史実調査参考資料報告

所在地

南洋群島パラオ島

職名

砲准尉

所屬部隊

獨立混成第百零九旅隊

氏名

大原景雄

摘要

支那事変以後
降参於ル自己
略歴

昭和十九年八月二十日、港出航、以後北支各戦場、
加加、昭和十九年十一月十日、杭州湾上陸戦に参加、
昭和十九年十二月十日、中支各戦場、
昭和十九年十一月十日、上海出航、昭和十九年十二月十日、
パラオ島上陸

職名変更及
参戦名
記不

所屬部隊
編成年月日
及編制裝備
概要

昭和十九年六月十二日、獨立砲兵大隊三中队、
及本部、
以前、野砲兵第百零九旅隊第一大隊

所屬部隊作
戦経過概
要

パラオ島嶋、防備、
前部隊に於て北支及中支各戦場参加

最後所屬
部隊ヲ主ニ
尚ソ以テ
所屬部隊ノ
介テ概記
ス

終戦(又ハ主
力ノ戦ヲ終了
後ノ状況

終戦後、主として現地自治ニ精進ス
ニ、アメリカ戦艦ニ乗車、復還ス

帰還輸送
ノ状況ヲモ
併記ス

帰郷(又ハ連
絡)先

鹿児島府

其他ノ参
考事項

ナシ